

第6節 治水対策の現状

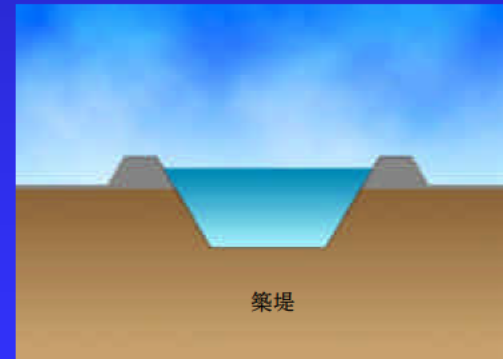
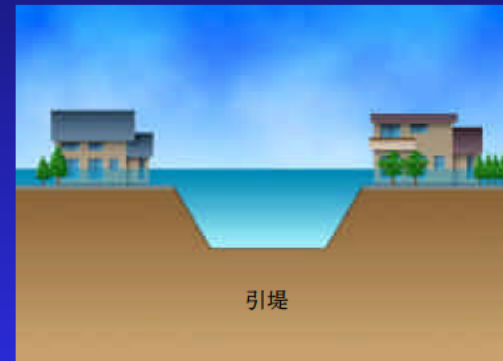
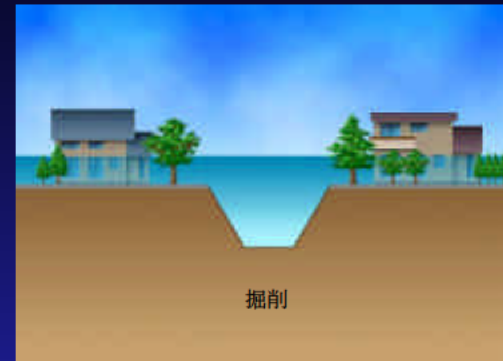
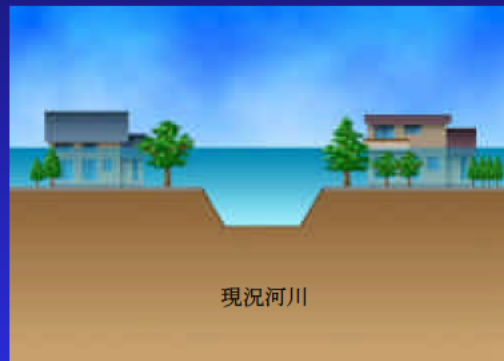
1. 治水対策の種類



2. 河川改修案

最も一般的な治水対策案です。

しかし、三田川他7 河川は民家が密集しているため、河川改修は困難で有効な対策案となりません。



全面的な改修では、沿川の数百世帯の民家が移転の対象となります。

したがって、整備期間が非常に長くなり、治水効果が発揮できるまでに、大きな洪水が発生する可能性があります。

3. 洪水調節施設案

遊水地方式

川に隣接した広い敷地に洪水を一時的に溜めて下流へ流れる水の量を調節する「遊水地方式」です。

しかし、密集した宅地の中に土地を確保することが難しいので解決策になりません。



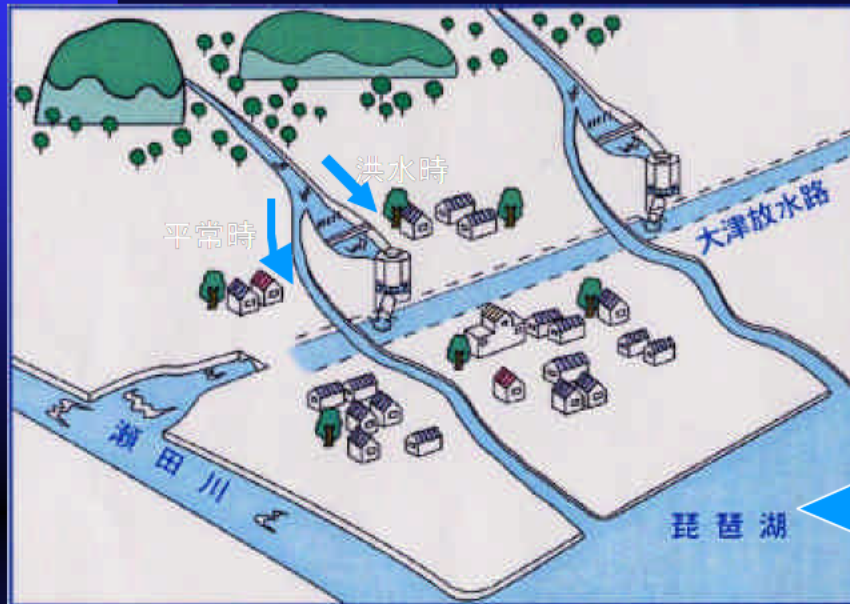
ダム方式

ダムを建設して雨水を溜める方式ですが、地形的にダムの建設は難しいことや、8河川が小さいためダム自体の能力を十分に発揮することができず、効果的な治水対策を行うことができません。



4. 最も効果的な対策案

放水路トンネルを設ける対策案が最も効果的です。

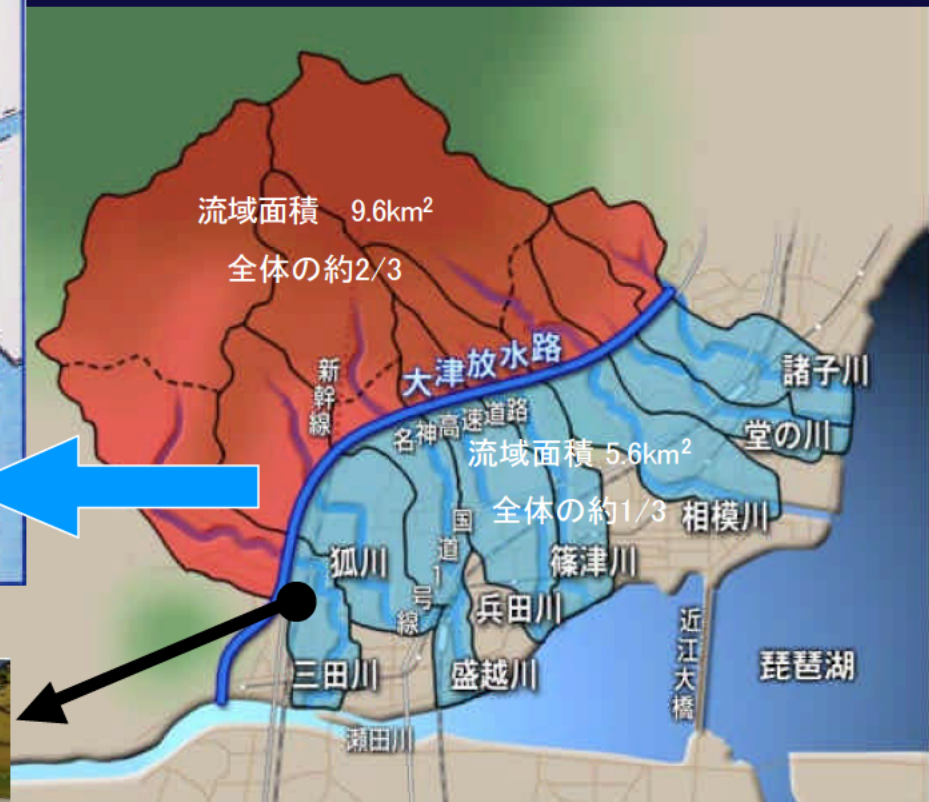


放水路と分水工のイメージ図



分水工は

- ・ 洪水時に現河川から立杭を通じ、放水路へ導水します。
- ・ 平常時に、現在の河川環境を維持するために現河川へ導水します。



5. 整備状況

現在、瀬田川合流部から盛越川までを施工しています。



分水工（現河川から放水路へ導水する施設）のイメージパース



瀬田川

放水路が瀬田川に合流するイメージパース



5. 整備状況



瀬田川合流部

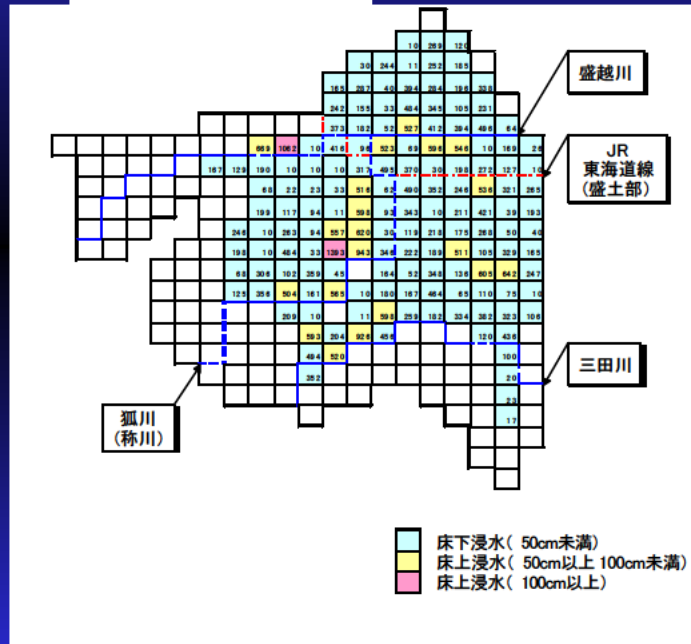


三田川分水工部

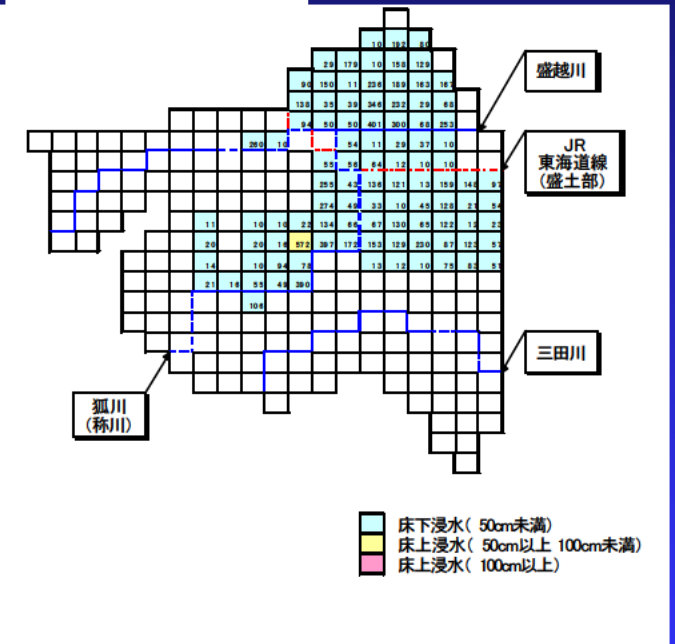
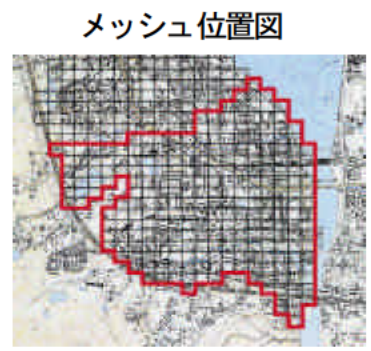
5. 整備状況

■ 大津放水路が盛越川まで到達したときの効果 (2倍相当の降雨)

・放水路なし



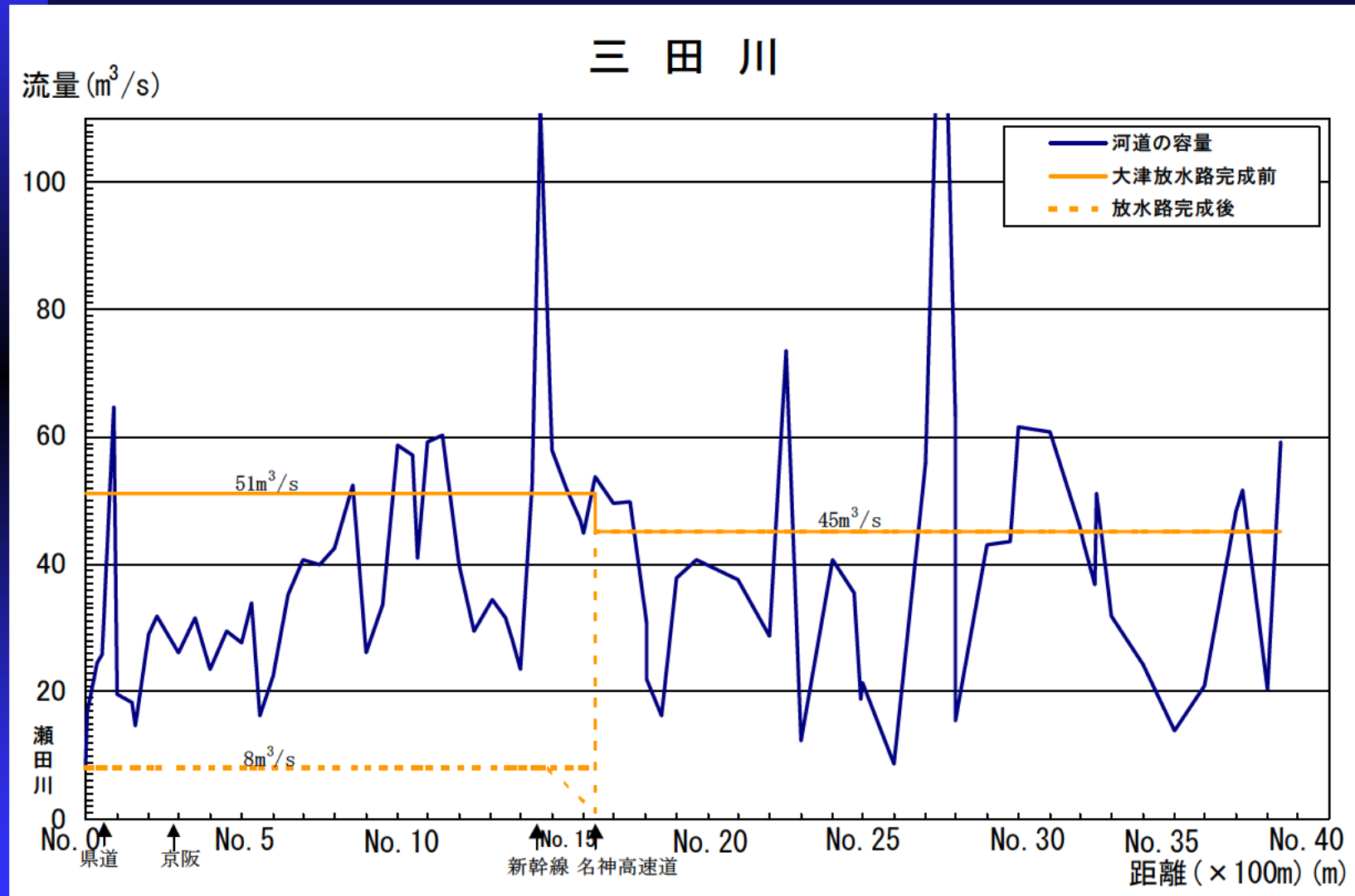
・放水路あり



・減少効果 ー約1,300戸
 ・(床上浸水 ー約500戸)

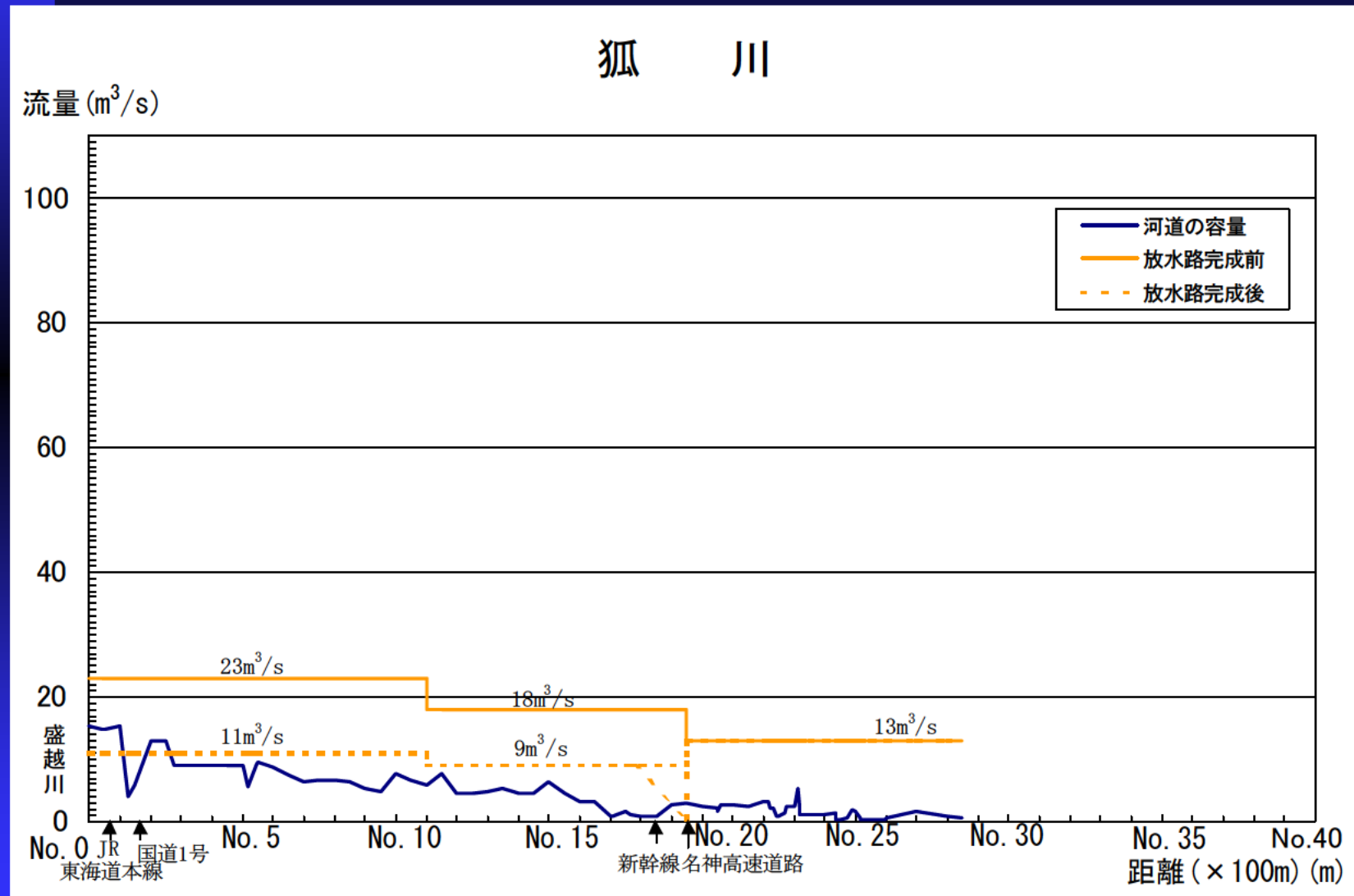
5. 整備状況

- 1倍相当の洪水における大津放水路の効果



5. 整備状況

- 1倍相当の洪水における大津放水路の効果



5. 整備状況

■ 1倍相当の洪水における大津放水路の効果

